令和3年度 八王子市議会

都市環境委員会所管事務調査事項
「水のまちづくりについて」

これまでの経過及び今後の調査予定

令和4年2月14日

説明項目

1. これまでの主な調査状況
2. 現時点でのまとめ
3. 今後の調査について
4. その他

Ⅰ. これまでの主な調査状況

日付等	形式	概要
①令和3年8月23日	市側報告・委員間協議	① 調査概要案について委員長より説明 ② 八王子市水循環計画について市側報告 ③ 「まちづくり」の観点から調査することに決定 ④ 現場視察の実施について決定
②10月20日～21日	現場視察	市内の水辺8箇所（南浅川、小田野中央公園、夕やけ小やけふれあいの里、多賀公園、大和田、北野、大栗川等）を視察調査
③10月22日	勉強会	「水のまちづくりに関する国制度等勉強会」
④11月19日	市側報告・委員間協議・懇談会	① 第34回全国都市緑化はちおうじフェアでの南浅川会場イベント実施状況について市より報告 ② 緑化フェアに主体的に参画した地域住民・市内事業者と「水のまちづくり」に関して懇談
⑤令和4年1月26日	オンライン行政視察及び現地視察	①岡山市オンライン行政視察（旭川かわまちづくり） ②台東区現地視察（隅田公園オープンカフェ事業）

Ⅰ. これまでの主な調査状況

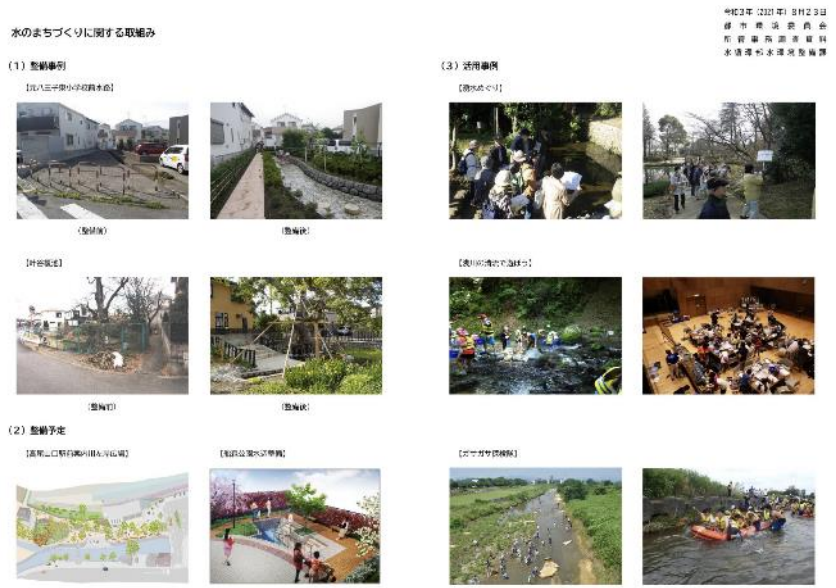
①令和3年8月23日　市側報告・委員間協議

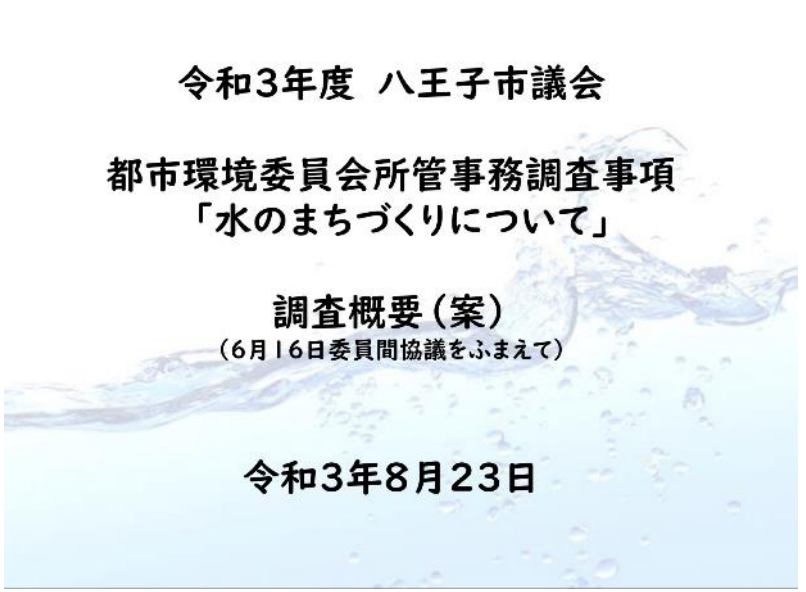
【主な議題】

① 調査概要案について
　委員長より説明
② 八王子市水循環計画について
　市側より報告

【主な結果】

① 調査概要案に即し、「まちづくり」の観点から調査することに決定
② 現場視察の実施について決定





Ⅰ. これまでの主な調査状況

②令和3年10月20日～21日　現場視察

【主な視察場所】

市内の水辺（南浅川（陵南公園、多賀公園）、北浅川（小田野中央公園、夕やけ）、子安町水路、浅川（大和田・北野）、大栗川等）

【主な結果】

① 改めて本市の水環境資源の豊かさと活用可能性を実感

② 一方で、活用に向けた施設（電源・トイレ・駐車場等）や担い手（協議会等）の必要性を確認

Ⅰ. これまでの主な調査状況

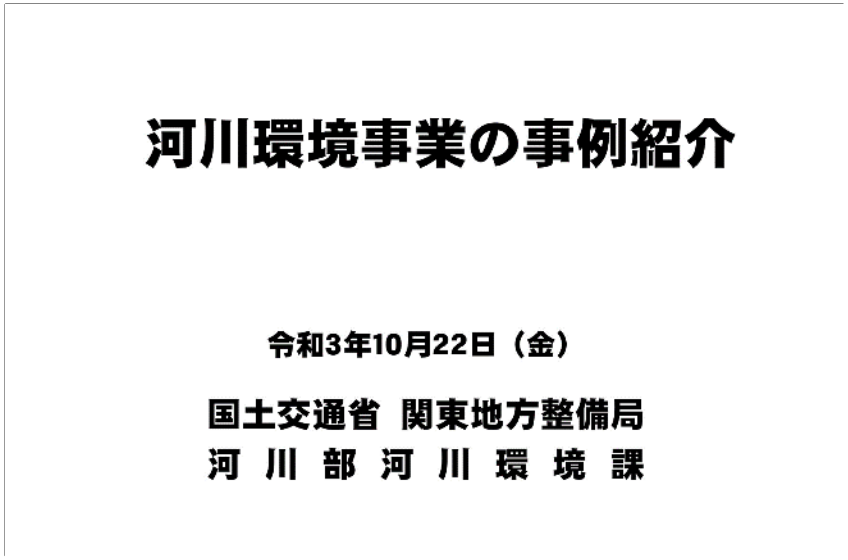
②令和3年10月22日　勉強会

【主な議題】

「水のまちづくりに関する国制度等勉強会」として、国土交通省担当者より、かわまちづくり制度の概要と適用事例等について説明

【主な結果】

① 「かわまちづくり支援制度」等の活用方法についての理解
② 全国の適用事例などを確認
③ 地域住民や民間事業者が参画する協議会の設置が重要



Ⅰ.これまでの主な調査状況

①令和3年11月19日　市側報告・委員間協議・懇談会

【主な議題】

① 緑化フェアでの南浅川イベント実施状況について市より報告
② 緑化フェアに参画した地域住民・市内事業者と懇談

【主な結果】

① 河川空間の活用について、地域住民・事業者の意向を確認
② 地域で継続的に取り組むために必要な事項（施設整備、運営支援等）を確認

Ⅰ. これまでの主な調査状況

①令和4年1月26日　岡山市オンライン行政視察
及び　台東区現地視察

【主な議題】

① 岡山市旭川のかわまちづくりについてオンラインにて視察
② 台東区隅田公園オープンカフェ事業について現地視察

【主な結果】

① 事業の端緒は、行政主導のモデル事業とする事例が多い
② 持続可能な民間事業となるよう、規制緩和などの支援が重要

2. 現時点でのまとめ ～委員意見～

⇒資料○　所管事務調査記録

○調査の進め方について

- ２年間の委員会として形に残すには、あまり幅を広げすぎないことも大事。テーマと場所を絞って行うべき。

- 浅川右岸・左岸、多賀公園などで、親水護岸の整備のほか、電気設備やトイレの設置などについて、提言できれば良い。

- 今後の課題として、協議会の設立や、河川用地の使用に関する取り決めなど、長期に亘る課題も出てくる。２年間で形にはならなくても、こういうことをした方が良いという提案を市にする形でも良い。次の委員会でもこのテーマを引き継いでほしいという意見を出して終わる形でも良い。

2. 現時点でのまとめ ～委員意見～

⇒資料○　所管事務調査記録

○モデル事業等について

- 政策提言に向けて、モデル事業としてオープンカフェ等を試験的・実証的に実施することは理解できる。
- オープンカフェにしても、定期的に開くことが制度的にできるような提言を目指す必要がある。
- 川もイベント系、ガサガサ等ができる親水系のところ…というように何種類か分けて提言を出してみては。
- イベントをモデル事業としてやってみて、何が足りないか確認・実証した上で提言できれば、実効性を伴うものになる。
- 将来できる協議会の形は、イベントなどの場所や目的で変わってくる。地域の方々や企業など、実行部隊でないと機能しないし、継続しないと思う。モデル事業でそれらを確認できれば良い。

2. 現時点でのまとめ ～委員意見～

⇒資料○　所管事務調査記録

○親水護岸・親水空間の整備について

- 水に親しみ、市民の憩いの空間となるような拠点をまちづくりとして取り組み、拠点となる親水空間ができると良い。
- モデル事業で、川への降りやすさ、使い勝手を確認し、親水護岸のあり方や改善点が提案できると良い。

○河川水量について

- 長期的には、川の水や地下水、伏流水を増やすような取り組みも必要。道路作ったら浸透桝を必ず作るなど、雨水浸透の取り組みをもう少し熱心にやらないといけない。
- 浸透水を増やす試みは、子安の集いの拠点など、今後予定されている事業で、具体的に実装していければ良い。

3. 今後の調査について

○調査内容（当初）

（1）現状調査・現地踏査

（2）先行事例の調査・研究

概ね実施済み
（必要に応じて今後も追加実施）

（3）「水のまちづくり」将来像の検討

・モデル事業の設定

（4）実現に向けた市民・行政

及び市議会の連携方策

今後実施予定

（5）「水のまちづくり」実現に向けた施策提言

委員会としての
最終目標

3. 今後の調査について ～ モデル事業の提案 ～

目的 ： 水のまちづくり（賑わい・環境・教育等）の
推進に必要な事項の検証

・市民の水辺利用ニーズの把握

・民間事業者による事業性の検証

・定常化に必要となる施設・仕組みの検討

場所 ： 浅川合流点 多賀公園周辺
及び　南浅川 原ふれあい広場周辺

時期 ： 令和4年秋ごろ

実施方法： 公園の一部利用を民間開放（場所貸し）

提案①：浅川合流点　多賀公園周辺

主な目的：

- 通常利用を想定し、民間事業者による河川空間の持続的な活用可能性を検証する

事業内容：

- 多賀公園用地の一部をキッチンカー等の出店スペースとして提供
- 市民の利用状況や評価、必要設備をアンケート等で把握

提案②：南浅川　原ふれあい広場周辺

主な目的：

- イベント開催について、周辺環境と調和した河川空間の活用可能性を検証する

事業内容：

- 原ふれあい広場を時限的なイベント会場として活用
- キッチンカー等による飲食の他、ガサガサ探検隊など河川環境を活かした自然体験イベントを各種実施　等

4. 調査スケジュール（案）

都市環境委員会　所管事務調査スケジュール

令 和 4 年 2 月 14 日

	令和3年（2021年）							令和4年（2022年）											令和5年（2023年）		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議等	①会期中委員会		②閉会中委員会		現場視察・勉強会	③閉会中委員会・懇談会		行政視察	④閉会中委員会			行政視察 ⑤閉会中委員会			⑥閉会中委員会			⑦閉会中委員会			⑧閉会中委員会	1定・本会議
活動内容	テーマ決定「水のまちづくりについて」		具体的調査事項決定		市内水辺空間の調査 かわまちづくり支援制度勉強会			①岡山市オンライン　②台東区	視察を踏まえた委員間協議（今後の調査予定について等）			先進事例の調査・研究 委員間協議（実証実験の内容について等）			調査報告書作成のための論点整理			調査報告書作成のための論点整理 委員間協議（検証項目の確認等）			調査報告書のまとめ・決定	調査報告